学図研・東京支部 2026 年度活動方針

2026 年 6 月 1 日

１．学校図書館の活性化をめざして、資料提供を追求し、理論化をすすめよう。
　貸出五条件についての検証をし、話し合いを続けていこう。
２．支部会では、テーマを決め、内容・担当者・司会などの活動計画を立て、会員の実践を発表し研修に努めよう。新しい本の情報を交換し、教科との連携を追求しよう。
３．他支部と交流しよう。全国大会や東日本ブロック集会に参加しよう。
４．編集委員のもと、紙面作りのため積極的に原稿を寄せ、支部ニュースの充実に協力しよう。
５．会員同士のコミュニケーションのため、支部の HP、メーリングリストを活用しよう。
６．学校司書と教職員との協働の在り方について勉強しよう。
７．望ましい学校図書館職員像について引き続き追求していこう。会計年度任用職員制度に関する動きに注目し、学校司書配置状況調査に取り組もう。
８．学校図書館職員問題や学校図書館に関わるさまざまな問題に積極的に取り組み、他団体と連携協力していこう。
９．新入会員、とりわけ未来を担う若い会員を大勢迎え入れよう。積極的に会の運営に関わろう。
１０．支部会員は積極的に学図研全国会員になろう。
１１．次年度の役員体制を確立し、皆が積極的に役員を経験しよう。
１２．学校教育の情報化への対応について、情報を交換しよう。

【2026 年度役員】

支部代表：杉山和芳
全国委員：清水紀子、鳴川浩子
全国一般会計：谷口裕美子
全国ニュース編集：植田亜里沙
編集委員：橋本愛里、千田つばさ、渡邊有理子、高本頼子
ＨＰ担当：佐々木愛
印刷発送・メーリングリスト：前田紀子
Facebook 担当：青野由美
会計：宅間由美子
監査：二井依里奈（前回会計を担当した人が担当する）

【学校司書配置状況調査】

2026 年度 上田暁子、歌川美歌、大浦和子、大澤倫子、岡田貴子、田中美智子、

大口和枝、菊池保夫
＊調査報告完了時に次年度の担当者を選任する（再任は妨げない）。

【他団体との連携】
「東京の図書館をもっとよくする会」：菊池保夫

2026 年度総会確認事項
１．各役員の仕事
共通事項）毎回支部会に参加できなくても、滞りなく仕事を進められるよう、皆で協力していく。
支部代表：・総会のとりまとめ、活動方針・活動報告の作成
・全国ニュース（8 月号）「各地の状況報告」の報告原稿作成
・入退会や外部など、なにかあった時の連絡対応
・支部発送の封筒に氏名・連絡先が掲載される。
全国委員：・全国委員会への出席、協議、全国と支部の橋渡し
編集委員（編集長および編集委員）：・支部ニュースの原稿依頼、編集、校正
・支部会案内の作成
会計：　・4 月 次年度の会費納入のお知らせ
・5 月 次年度の会費徴収／決算報告・次年度予算案の作成
・6～8 月 未納の会員への連絡
・通年 会費の受け取り、支出への対応、名簿の管理
ＨＰ担当：・HP の更新（支部会のお知らせ、支部ニュースの目次の転載、他）
・HP に届いたメール（入会申し込み・問い合わせ）への対応
Facebook 担当：・支部会の案内
・情報発信
印刷発送・メーリングリスト：
・支部ニュースの印刷と発送（寄贈先：日本図書館協会・東京都立図書館）
・支部ニュースのメール配信
・メーリングリストの管理、発送用名簿の管理
監査：　・年度末に会計監査をする。

２．購読会員について
・地理的に支部会への出席が難しい都外の方のみ、支部ニュースの購読会員になることができる。メールでの PDF 配信を基本とし、年会費は 1000 円。

３．会費について

・年会費は 1000 円。原則として前払いとする。支部ニュースはメールでの PDF 配信を基本とする。郵送での受け取りについては、規約「学図研・東京支部会則」を前提とする。

・繰越金が会費収入の２倍程度に減ったら、予算の使い方や会費の金額について検討する。

４．役員輪番制について

・会員全体で会を支えていく体制を作っていく。再任を原則２回にして毎年入れ替えていく。名簿を整備し、引き続き順番に役員について打診していくようにする。立候補は妨げない。

５．ニュース原稿について

・支部ニュースの原稿について、支部委員はなるべく１年に１回は執筆するようにする。

（文責 杉山和芳）